# 生産性向上支援訓練オープンコースのご案内 ㉛

令和８年度 第３弾

～忙しさから抜け出す！
成果につながる仕事の整理と時間の使い方で、チームはもっと強くなる!!～

# 業務効率向上のための時間管理

コース番号：041-057

**開催日時：2027年 2月18日(木)　募集締切：2月4日(木)**
**9：30～16：30（６時間）**

**受講料 3,300円（税込）**

**開催場所：ポリテクセンター山梨（裏図参照）**
**定　　員：16名程度（先着順）**
**推 奨 者：初任層～中堅層**

**実施機関＆講師**



経営創研株式会社
コンサルタント
**中野 羊彦氏**

**講師Profile**

大手メーカーの管理職として業績向上や業務改善の仕事に携わった。講師経験も豊富であり、管理者や中堅層を対象に様々な講師をしている。講義だけではなく実践的演習を行い、討議を通じて仕事に対する意識の変革を図る。

**コースの狙い**

限られた人員で最大限の成果を上げることによる労働生産性の向上をめざして、客観的に仕事の進め方を分析することで、仕事が進まない原因を取り除き、業務の効率化・スピード化を促進できる仕組みづくりを行うための知識を習得します。

**主な訓練内容**

◎ **タイムマネジメント手法**

**(1) タイムマネジメントとは**
タイムマネジメントとはいかに、単に時間を省くというだけではなく、仕事を効果的に行い生産性をあげることであることを解説します。そして、これから実施する研修のタイムマネジメントの概要を説明します。

**(2) 時間管理と業務効率の確認**
時間管理と業務効率が連動していることを説明します。
受講者に過去３日間の仕事を振り返っていただき、自分の時間管理の状況と業務効率がどうだったかを確認してもらいます。

**(3) 業務効率を下げる要因とその削減方法**
業務効率を下げる要因として不必要な仕事を実施していることを解説します。そして、不必要な仕事を削減するには仕事の目的を明確にし、必要なアウトプットを明確にする必要があることを説明して、その上で具体的な不必要な仕事の削減方法を解説します。

**(4) 業務の優先度の考え方**
受講者に「緊急―非緊急」「重要―非重要」の軸で自分の業務のマトリックスを作っていただき、自分の業務の優先度の実態を把握してもらいます。その上で、「非緊急―重要」の業務を優先させ、仕事を計画的に実施することが重要であることを解説します。

◎ **時間管理とタスク管理**

**(1) タスク管理とスケジュール管理との違い**
タスク管理とは、作業の優先度を決めて自身やチームで管理し、効率的に仕事を進めること、スケジュール管理とは、ToDoやタスクの予定を適切に管理することであることを説明します。
その上で、タスクとスケジュールのコントロールができれば、業務効率の改善につながることを説明します。

**(2) タスクの達成目標と期限管理**
タスクの目標を期限内に達成するための、スケジュールの作り方や管理の仕方を解説します。具体的には達成目標や達成期限の設定の仕方、ToDoの作り方、仕事の優先付けや仕事のさばき方、集中時間の確保の仕方などを説明します。

**(3) 突発的な仕事の制御**
仕事を効果的に行うためには、突発的な仕事を制御することが重要であることを解説します。突発的な仕事を制御するには、受け身ではダメなことを説明し、いかに自分が主体性をもって突発的な仕事を制御していくかが重要であることを解説します。

**(4) 業務分析とタスク管理**
仕事をチームで効果的にすすめるためには、業務分析やタスク管理が重要であることを説明します。
その上で、タスクの定式化やマニュアル化、仕事の平準化や同期化、仕事の流れの改善などの具体的な手法について解説します。

【演習】①過去３日間の仕事において不必要な仕事を行っていないかチェック。
②自分の仕事を時間管理マトリックスを用いて仕事の優先順位を考える。
③「突発的な仕事の状況や制御の仕方」について。　④「手戻りの仕事の状況や削減の仕方」について。

***○ 訓練内容のココがポイント！***

① タイムマネジメントとタスク管理の手法を漏れなく学べるものにします。
② 単なる手法の学習だけではなく、仕事をする姿勢について意識改革をしてもらいます。
③ 単なる講義だけではなく、振り返りや討議・演習などの取り交ぜ、実践的な内容にしています。
④ オープンコース出席事業所の業務に合わせた調整を行います。

生産性向上支援訓練の「マイページ」サービスが始まりました。
企業（事業所）をマイページに登録すると、生産性訓練の申し込み等をＷｅｂから行うことができます。
マイページURL
https://mypg.tds.jeed.go.jp/
マイページの詳細、お申し込みはこちらから

どちらからでも申込可

ポリテク山梨のＨＰ内に、ＰＣ（Excel）で入力できる受講申込書の様式データがありますので、受講申込書に必要事項をご入力の上、メール又はＦＡＸでお申し込み下さい。